

## 第1号議案

2021年度のまとめと2022年度のすすめかた

## 《2022年度スローガン》

## 介護と医療の一体化をすすめ、 共立病院の建て替えリニューアルを成功させよう！

## はじめに

2022年2月24日、ロシア・プーチン政権はウクライナへの軍事侵攻を開始しました。姫路医療生協は、ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻に抗議し、即時中止を求めます。国際社会と連帯し、平和を実現する活動をすすめます。

2021年度もコロナ禍の中、様々な制約をかかえながら事業と活動を推進しました。法人の新型コロナ対策本部を軸に、事業所からクラスター（感染者集団）を出さないことを重点に感染対策を強化し、サービス提供を継続しました。

組合員活動は、緊急事態宣言等により自粛期間はありましたが、つながりづくりと社会参加を大切にし、創意工夫をおこないました。

2022年度は共立病院の建て替えリニューアルを本格的に推進する年度となります。介護と医療の連携強化（介護と医療の一体化）をすすめ、姫路医療生協の強みである“総合力”と“連携”を生かして共立病院の建て替えリニューアルを成功させましょう。

当生協は、姫路市SDGs（持続可能な開発目標）宣言書に「SDGs宣言」を登録（2022年1月21日付）しました。SDGs目標の3「すべての人に健康と福祉を」では、介護・医療事業と地域活動を通じて、法人理念「その人らしく、気持ちよく生きる」の実現をめざしま



オンライン班会で健康づくり

## 《SDGs-17の目標》



SDGsバッジ

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| ① 貧困をなくそう             | ⑩ 人や国の不平等をなくそう      |
| ② 飢餓をゼロに              | ⑪ 住み続けられるまちづくりを     |
| ③ すべての人に健康と福祉を        | ⑫ つくる責任、つかう責任       |
| ④ 質の高い教育をみんなに         | ⑬ 気候変動に具体的な対策を      |
| ⑤ ジェンダー平等を実現しよう       | ⑭ 海の豊かさを守ろう         |
| ⑥ 安全な水とトイレを世界中に       | ⑮ 陸の豊かさを守ろう         |
| ⑦ エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | ⑯ 平和と公平をすべての人に      |
| ⑧ 働きがいも、経済成長も         | ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう |
| ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう     |                     |

す。SDGs目標の11「住み続けられるまちづくりを」では、人と人とのつながりと社会参加を大切にし、健康づくりや助け合い活動を地域に広げます。

私たちは、国連が定めた2030年までに社会問題や環境問題の解決をめざすSDGs17の目標を学び、持続可能な社会の実現に貢献します。

## 1) 2021年度のまとめ

### 1. 地域包括ケア<sup>①</sup>の推進、“最期まで安心の在宅サービス”の提供

①共立病院建て替えリニューアル、介護事業の新規事業を計画的にすすめました

○共立病院の建て替えリニューアル事業計画づくりを推進し、1月度理事会で設計施工者の選定を確認しました。12月に兵庫民医連、2月に医療福祉生協連による共立病院建て替え経営検討会を開催しました。

○新福祉介護センターあぼしは、2022年3月23日に新築移転しました。

福祉用具レンタルあぼしは、2022年5月1日開設の準備をすすめました。

看護小規模多機能<sup>②</sup>みくいの新規開設準備は、姫路市に開設申請をおこないましたが、採択には至りませんでした。



福祉用具レンタルあぼし

②地域包括ケアを推進し、“介護と医療の一体化”をすすめました

○2021年度介護報酬改定は、法人として多職種による「介護報酬改定対応ミーティング」を開催し、対応をすすめました。11月にLIFE(科学的介護情報システム)サポートチームを立ち上げました。

○共立病院訪問診療と訪問看護の連携作業チームを立ち上げ、ICT(情報通信技術)を活用したルールづくりをすすめました。3月には、共立病院と介護部門の連携会議がスタートしました。

○自然災害と感染症に関するBCP(事業継続計画)の策定をスタートさせました。

③経営活動は、利用者増・コンプライアンス・サービスの質の向上を重視しました

○2021年度決算は、事業収益52億387万円(予算比98.3%、前年比101.0%)、経常利益1億8,012万円(経常利益率3.5%、予算比90.5%)です。

○介護事業部によるコンプライアンス活動<sup>③</sup>は、計画的に各事業所と双方向で推進しました。

○デイサービスでは、ICT機器「インカム」の活用が定着しました。

○FMゲンキ姫路のラジオ番組「解決!何でも困り事相談!」に定期的に職員が出演しました。

## 2. “地域包括ケアを担う人づくり”の推進

### ①人財確保・育成を計画的にすすめました

- 職責者研修やe-ラーニング<sup>④</sup>を活用したマネジメント研修、新任管理者研修、新入職員基礎研修、新卒1年目研修、2・3年目研修等、きめ細かく丁寧に研修会を開催しました。
- 法人学術・運動交流集会を開催しました。各事業所で「人権カフェ」、「職場SDGs宣言」にとりくみました。
- あぼし診療所に6月、非常勤医師が着任されました。医師確保の課題は、引き続き最重点課題です。



「スマホの使い方」班会

### ②キャリアアップ育成システム確立に向けた準備をすすめました

- 介護職員のキャリアアップ育成システムの準備に着手しましたが、運用には至りませんでした。

### ③組合員と職員がともに学び、協同をひろげました

- 第22回介護・医療フォーラムは、11月に悠翔会の在宅医：佐々木淳氏を講師に迎え、オンライン開催しました。組合員・職員・一般含め356名が参加し、フレイル予防やまちづくり、今後の在宅サービスについて学びました。
- 秋の生協強化月間は、推進委員会や事業利用委員会で論議し、組合員と職員が協同して推進しました。
- 通信教育は、組合員15名、職員58名が受講しました。

## 3. つながりと社会参加を大切にした“くらしの安心ネットワーク”づくり

### ①コロナ禍の中、創意工夫した組合員活動をすすめました

- 生協マルシェ<sup>⑤</sup>やフードドライブ<sup>⑥</sup>、「スマホの使い方」班会、オンライン学習会、ニュースひめじ（2021年4月にリニューアル）の配布活動、「介護・医療の困りごと相談窓口」ステッカー作成など、コロナ禍であっても感染対策を重視しながら組合員活動を継続しました。
- ひょうごまるごと健康チャレンジ、禁煙ポスターコンクールにとりくみました。
- 秋の生協強化月間は共立病院の建て替えリ



生協マルシェ

ニューアルの成功を訴えのメインに推進しました。共立病院の建て替えに関する組合員アンケートを実施しました。

- 仲間ふやしは735名（純増-798名）、出資金ふやしは5,051万円（純増675万円）の到達です。事業所の組合員利用率は39%から49%にアップしました。

## ②くらし・平和を守る活動をすすめました

- 3月に理事長声明「ロシア・プーチン政権によるウクライナへの軍事侵攻に抗議し、即時中止を求めます」を発出し、平和への声をひろげました。
- 多彩な署名活動にとりくみました。
- 平和行進では、各支部や事業所で平和ペナントを作成しアピールしました。
- 西播社会保障推進協議会の自治体キャラバンに参画しました。

## 2) 2022年度のすすめかた

### 1. 共立病院の建て替えリニューアルを成功させます

#### ①共立病院の建て替えリニューアルと介護事業の展開をすすめます

- 共立病院の新建設は、2022年12月着工、2023年12月のオープンをめざし、準備をすすめます。また、共立病院デイケアは2024年8月オープン予定です〔全体の投資額は、約16億円（税込）〕。「新病院建設委員会」を立ち上げ、組合員と職員が協同して推進します。

共立病院は、“かかりつけ医<sup>①</sup>”病院として、多くの組合員・地域住民にご利用いただきます。新病院の病床数は48床です。訪問診療件数増、病床稼働率アップをはかり、“採算の取れる病院づくり”を実現します。常勤医師を確保します。



新共立病院イメージ図

- 2022年5月に福祉用具レンタルあぼしを開設します。また、福祉用具レンタル市川台及び福祉介護センター花北の移転、3ヶ所目の看護小規模多機能事業所開設等を視野に入れた検討をすすめます。

#### ②地域包括ケアを推進し、“介護と医療の一体化”を実現します

- 姫路医療生協の強みである“総合力”と“連携”をさらに生かします。
- 「認知症」「1人暮らし」「中重度者」の方を在宅で支える機能を強化し、在宅生活の限界点を高めます。“尊厳ある在宅看取り”を重視します。
- 行政や他団体との“顔の見える関係づくり”をさらに強めます。



③経営活動は、3つの柱（利用者増・コンプライアンス・サービスの質の向上）ですすめます

○2022年度の事業収益は52億6,832万円（前年比101.2%）、経常利益は1億3,475万円（経常利益率2.6%）を実現します。

○営業活動と広報活動を強化します。ICT（情報通信技術）の利活用水準をさらに引き上げます。引き続き、コンプライアンス活動を重視します。

○中長期計画を策定し、今後の事業・経営活動の展望を共有します。

## 2. “地域包括ケアを担う人づくり”をすすめます

①“キャリアアップ育成システム”の確立をはかります

○介護事業のコンサル会社と契約をおこない、介護事業所の内部環境分析を通じて、教育制度と評価制度の確立をはかります。

○“個人の成長”と“やりがい”を実感できる職場づくりを推進します。

○職員の離職防止、定着率アップをはかります。



第22回介護・医療フォーラム（オンライン開催）

②人財の確保・育成、管理者・リーダーの育成を推進します

○医師確保は最重点課題と位置づけ、常勤医師複数名の着任をめざします。

○職員の集合研修は、キャリアアップ育成システムに沿った研修を具体化します。全職員を対象にした計画的な研修を企画します。

○e-ラーニングの積極的活用をはかります。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげます

○第23回介護・医療フォーラムを企画します。

○イチ押し班会メニューを充実させ、活用をひろげます。

○医療福祉生協連発行の「comcom」（コムコム）、全日本民医連発行の「いつでも元気」の月刊誌を組合員・職員に普及し、事業と活動に生かします。

○医療福祉生協連の通信教育を活用します。

**介護・医療の  
困りごと相談窓口**

**姫路医療生活協同組合**

【お問い合わせ先】地域サービス部（代表）

**☎079-285-3399**

受付時間：【月～金】9：00～17：00 【土】9：00～13：00

暮らしに  
安心を

「介護・医療の困りごと相談窓口」ステッカー

### 3. 共立病院建て替えリニューアル成功に向けた“1億円増資大運動” にとりくみます

- ①ゆるやかなつながりと社会参加を大切にし、“くらしの安心ネットワーク”をひろげます
- コロナ禍の中、創意工夫で「つながりを絶やさない」活動をひろげます。  
「介護・医療の困りごと相談窓口」ステッカーを活用したネットワークづくり、オンライン・対面のハイブリッド型の組合員活動、スマホの使い方班会の普及、生協マルシェの各ブロックへの展開、ニュースひめじを通じたつながりづくりなど
  - フレイル・オーラルフレイル予防<sup>⑧</sup>、健康づくり、サークル活動をひろげます。
  - 世話人づくりをひろげるとともに、地域で生活を支える「くらしの助け合いの会はなちゃん」の支援会員や事業所ボランティアを増やします。
  - 事業利用委員会は、「キラリハート」<sup>⑨</sup>の取り組み、事業所と組合員（地域）の協同を重視します。
- ②仲間ふやし・出資金ふやしを組合員と職員の協同ですすすめます
- “1億円増資大運動”の推進体制をつくり、組織拡大方針を具体化・推進します。
  - 仲間ふやし1,000名（純増500名）、出資金ふやし1億円（純増5,000万円）、積み立て増資1,200件/月をめざします。早期に組合員数2万人を回復します。
  - 全事業所が組合員利用率50%以上を実現します。各事業所は日常的な組合員ふやしにとりくみ、組合員利用率のアップをはかります。
  - 医療生協加入メリットチラシの活用をひろげます。
- ③くらしと平和を守る活動をすすめます
- ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻に抗議し、即時中止を求めます。
  - 日本国憲法を守り、社会保障を拡充するとりくみを推進します。
  - 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める運動をすすめます。
  - 原発ゼロの実現、再生可能エネルギーへの転換をめざします。
  - 西播社会保障推進協議会の自治体キャラバンに参画します。



平和行進でのアピール行動

## 《語句の解説》

## ① 地域包括ケア

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり。介護、医療、生活支援・介護予防、住まいの切れ目のない一体的なサービス提供をすすめます。

## ② 看護小規模多機能

“訪問看護”に“通い”“泊まり”“訪問（介護）”のサービスを組み合わせた地域密着型の在宅サービス。中重度者の医療的ケアや尊厳ある在宅看取りニーズにお応えします。

## ③ コンプライアンス活動

生協本部の介護事業部職員が、各介護事業所を訪問し、法令順守状況のチェックと評価をおこなう活動

## ④ e-ラーニング

インターネットを活用した学習

## ⑤ 生協マルシェ

マルシェはフランス語で「市場」を意味します。“通い”と“つながり”の場としての楽しいイベント

## ⑥ フードドライブ

食品ロスをなくすために、余った食品を必要な人に届けるとりくみ

## ⑦ かかりつけ医

健康や病気のことについて、何でも相談できる身近な医師のこと

## ⑧ オーラルフレイル予防

口腔機能の低下を予防する取り組み。健康寿命の延伸に大きく寄与します。

## ⑨ キラリハート

利用者様に喜ばれたイチ押し事例を各事業所がまとめ、組合員・職員の確信にし、ひろげるとりくみ

## 2022年度 各部門・事業所の理念と重点課題

## 《姫路医療生協の理念》

## その人らしく、気持ちよく生きる

## 共立病院

《理 念》利用者が満足できるより良いサービスを提供し、地域から信頼される病院をつくります

## 《重点課題》

- 地域住民の在宅生活を支える病院として地域包括ケア病床の機能を医療活動の中心に位置づけます。
- 職業人としてあるべきふるまいを常に心がけ、すべての関係者が満足できるような職員の接遇対応を実現します。
- 地域の医療機関や介護事業所との連携をさらに向上させます。

## ヘルスコープあぼし診療所

《理 念》安心・安全の介護・医療連携で、利用者様へ満足度の高いサービスを提供します

## 《重点課題》

- 常勤医師を最低1名採用します。世代交代の計画的な対応をすすめます。
- 住み慣れた地域で医療と介護が連携し、患者様の思いに沿った診療所の医療を提供します。
- 在宅医療管理件数100件（うち1割は太子地域）をめざします。多職種連携でアドバンス・ケア・プランニングに基づく終末期医療に対応します。
- かかりつけ医診療所としての環境整備をおこない、患者様・家族様に医療を提供します。
- SDGsにかかわる「フードバンク」の受付事業所としての役割を果たします。

## 共立歯科

《理 念》口はいのちの入り口 健康の入り口

～生涯口から食べる楽しみをサポートします～

## 《重点課題》

- 地域包括支援ケアシステムにおける歯科の役割を果たし、在宅歯科診療をひろげます。
- 地域の医療機関や介護事業所との連携を深めICTを利用し口腔ケアの技術向上に努めます。
- 安心安全な治療を提供し安定した経営を行います。
- すべての分野で選ばれる歯科を目指し接遇の向上に努めます。
- 人材育成に取り組み働きやすい職場づくりに努めます。



**居宅介護支援事業所**

《理 念》ふれ愛 ささえ愛 みとめ愛 とともに生きる

《重点課題》

- 共立病院建て替えリニューアル成功に向け、質の高いケアマネジメントの提供で利用者増を図ります。
- 地域包括ケアシステムを推進し、最期まで安心して暮らし続けられる在宅サービスを提供します。
- 利用者の自立支援に向けLIFEを有効活用し、サービス事業所との連携を図りPDCAサイクルを回します。

**姫路市増位・広嶺地域包括支援センター**

《理 念》地域で共に支え合い、共に生きる

《重点課題》

- 地域住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な相談・援助を円滑に行います。
- 多世代でつながり、相互に役割を持ち、支える『地域づくり』に取り組みます。
- 多面的支援の充実と地域住民による支え合い、地域資源、公的支援をコーディネートし、切れ目のない支援を実現できるような『地域づくり』に取り組みます。
- 地域で楽しみや生きがいを見出せるような『地域づくり』に取り組みます。

**訪問看護ステーション**

《理 念》住み慣れた地域でその人らしく最期まですごせるように、安心・安全・こころあたたまる看護を提供します

《重点課題》

- 感染症や非常災害の発生時においても必要なサービスの提供を継続できる体制を構築するため業務継続計画の策定を行います。
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所を受け皿として、医療依存度の高い方も最期まで地域で過ごせるよう医療と介護の両面からサポートし多職種連携に努めます。
- 地域包括ケアを担う人づくりをすすめると同時に、在宅看取り体制を強化しACPの浸透を図りあらゆる疾病のご利用者様のニーズに応じた質の高い訪問看護、リハビリテーションを提供でき選ばれるステーションを目指します。
- ICTの活用を推進し、業務の効率化を目指すとともに法人内・外も含めた介護・医療の連携を推進することで利用者様とご家族の安心できる在宅生活を支援します。

**看護小規模多機能**

《理 念》住み慣れた地域でその人らしく過ごすことができるよう医療と介護の両面をサポートします

《重点課題》

- 看護・介護ともに必要な知識と技術を磨き、質の高いサービスの充実に努め一人ひとりに

寄り添います。

- 近隣の医療機関と連携し、地域住民と交流を図り、より多くのひとに看護小規模多機能を知ってもらい、信頼される、選ばれる事業所を目指します。
- 感染症や非常災害の発生時においても必要なサービスの提供を継続できる体制を構築するため業務継続計画の策定を行います。
- ICTの活用を推進し、業務の効率化を目指し多職種連携を確立することで利用者様が最期まで安心できる在宅生活を支援します。

### 定期巡回・随時対応サービス

《理念》「いつでもつながる安心」を提供し、その人らしい暮らしをささえます

《重点課題》

- 定期巡回サービスを、更に多くの人に知っていただくために、広報活動や営業活動を継続し、利用者増に繋がります。
- 利用者様の意向や生活状況を把握した上で、自立支援を促進します。
- 他職種と連携し、ICT(情報通信技術)を活用しながらサービスの質の向上を目指します。
- 職場の労働環境を整備し、業務の効率化を図ります。
- 働き方改革に取り組み、生産性向上に努めます。

### ヘルパーステーション

《理念》笑顔ある暮らしに寄り添います

《重点課題》

- 利用者様の重度化防止と自立した在宅生活の継続を目指します。
- コンプライアンスの徹底を基盤とし、事業経営活動を発展させます。
- ICT(情報通信技術)を活用しながら他職種との連携を図り、サービスの質の向上を目指します。
- 職責者やサービス提供責任者・ヘルパーの人材育成を進め、職員が成長でき働きがいを実感できる職場づくりを推進します。
- 感染対策を徹底します。

### リハビリテーション

《理念》一人一人によりそい、可能性を共に考え、その人らしい毎日を支えます

《重点課題》

- 自ら学び、目標に対して努力と挑戦を続けるリハビリ専門職を育成します。
- リハビリテーションを通じて、一人一人の生活を支え、地域を支え、社会に貢献します。
- ICTを利活用して業務効率化を図り、安定した経営を目指します。

**通所リハビリ**

《理 念》一人ひとりを大切に その人らしさをサポートします

《重点課題》

- 新規利用者様の獲得を図り、安定した経営を目指します。
- LIFEを活用し、自立支援につながる効果的なリハビリを提供します。
- 感染症対策を徹底し、安心してご利用いただける事業所づくりに努めます。

**デイサービス**

《理 念》人が出会い「笑い」が生まれる

《重点課題》

- 認知症対応・機能訓練・口腔・栄養の取り組みに多職種で関り、科学的評価に基づく質の高いサービスを提供し、選ばれる事業所を目指します。
- 感染症や災害などへの対策を行い、事業を継続します。
- 利用者様を理解し、エビデンスに基づいた介護ができる職員育成に努めます。

**小規模多機能ホーム**

《理 念》一人ひとりに寄り添う 地域に寄り添う

《重点課題》

- 利用者の尊厳を守り地域の生活者として支えます。
- すべての職員が生き活きと活躍できる職場をつくります。
- 地域住民の安心拠点として健全な事業を継続します。

**ショートステイつどい**

《理 念》人がつどい『笑顔』が生まれる

《重点課題》

- 事業費用削減と利用者確保で「黒字」を目指します。
- 「介護過程を理解し考えるケア」が実践できる人をつくります。
- 「やりがいのある職場」をつくります。

**グループホームめが**

《理 念》思いやりの心で、ひとりひとりの「生きる」を支えます

《重点課題》

- 利用者の尊厳が守られた認知症ケアの実践、職員一人ひとりの強みが発揮できる職場づくりを行っていきます。
- 安定した運営で赤字縮小につなげるよう努めます。
- 地域とつながりを大切に地域密着型施設として地域に貢献します。

**福祉用具レンタル**

《理 念》個性ある住みよい暮らしの演出をお手伝いします

《重点課題》

- 福祉用具レンタルあぼし開設、福祉用具レンタル市川台移転に伴い、新天地で地域の方に親しんでいただける事業所を目指します。
- 利用者様の意向や身体状況をふまえ、住環境の整備・福祉用具の提案をおこないます。
- 地域包括ケアを担う事業所として、サービスの質の向上に努めます。

**訪問入浴サービス共立**

《理 念》安心・快適をモットーに体と心温まる訪問入浴サービスをお届けします

《重点課題》

- 利用者のニーズを受け止め、その人らしく寄り添った訪問入浴をお届けします。
- 多死社会における「尊厳ある在宅看取り」に貢献します。
- ICTを活用して効率的で効果的な職場運営を行い、黒字経営を目指します。

**生協本部**

《理 念》一人ひとりに、正確・迅速・思いやりのあるサービスを提供します

《重点課題》

- 人材を確保・育成し、事業の発展に貢献します。
- 職員の離職防止、定着率アップをはかり、“安心して働ける事業所づくり”に貢献します。
- 介護職員キャリアアップ育成システムの確立を推進します。
- 健康づくり、認知症見守りサポート、助け合い、つながりを重視した地域活動をひろげ、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。
- ICT（情報通信技術）を活用し、法人の情報共有・発信・連携を強化します。